

研究部会 活動報告

苑原俊明

(研究部会長)

1. 公開法律シンポジウム「現代の法律問題を考える ― モデル小説とプライバシー」 (第12回) の開催

今回のシンポジウムは、雑誌に初出の小説のモデルとなった者が、著者を相手とする、単行本出版の差し止めを求めた事件での、最高裁判決を受けたものである。原告の弁護団の一員であった木村弁護士、表現の自由に関する研究者で今回の訴訟では判決に批判的な立場をとる田島教授、そして本学文学部で日本近代文学を研究してきた渡邊教授が、それぞれの意見を述べた。その後、フロアーからの意見・質問を含めて、活発なやりとりがなされた。出席者の数は、約百人であった。

日 時：2002年12月20日(金) 板橋校舎1号館106教室

テーマ：モデル小説とプライバシー～柳美里「石に泳ぐ魚」事件を素材として～

司 会：木村晋介氏(弁護士)

講 師：田島泰彦氏(上智大学教授)

渡邊澄子氏(本学名誉教授)

なお、本シンポジウム開催にあたって、板橋区教育委員会と大東文化大学法学部法政学会の後援を受けた。記して謝意を表したい。

2. 研究班の現況

今年度は、前年度からの継続が3件、新規が1件の計4つの研究班に対して、研究助成を行った。各研究班の活動は、主として定例研究会や研究合宿の開催などである。前年度までの法律情報研究班は、その代表者である野口教授の研究会発表をもって活動を終了した。

継続

① フランス近代法研究班

荻原貞正(法学部法律学科教授) 瓜生洋一(法学部政治学科教授)

白石裕子（法学部法律学科教授） 貴田 晃（文学部英米文学科助教授）
尾中晋子（本学名誉教授） 江藤价泰（本学元教授）

②現代人権研究班

越路正巳（法学部法律学科教授） 石山文彦（法学部法律学科教授）
苑原俊明（法学部法律学科教授） 木原正雄（法学部法律学科教授）
上村英明（恵泉女学園大学人文学部助教授）
町井和朗（本学名誉教授）

③不動産法研究班

野口昌宏（法学部法律学科教授） 荻原貞正（法学部法律学科教授）
山口庸夫（流通経済大学教授） 加藤輝夫（日本文化大学教授）
後藤泰一（信州大学教授） 江口幸治（埼玉大学講師）
吉田夏彦（日本文化大学講師）

新規

④法学基礎教育研究班

加瀬幸喜（法学部法律学科教授） 石山文彦（法学部法律学科教授）
荻原貞正（法学部法律学科教授） 柴田敏夫（法学部法律学科教授）
白石裕子（法学部法律学科教授） 苑原俊明（法学部法律学科教授）
木原正雄（法学部法律学科教授） 山本裕子（法学部法律学科講師）
広井大三（法学部法律学科教授） 山口志保（法学部法律学科助教授）
（いずれも筆頭者が、各班の代表責任者）

3. 定例研究会の開催

今年度は、下記の法律情報研究班の代表責任者による報告が行われたのみである。
研究部会長の怠慢と言うしかない。次期研究部会長の活躍に期待したい。

第1回（通算第16回）2002年6月26日（水）

テーマ：Web を利用した民法授業

報告者：野口昌宏（法学部法律学科教授）